

令和4年度 学校評価について【全日制課程】

香川県立高松工芸高等学校

1 学校評価委員会

校長、教頭、事務部長、教務主任、各校務分掌長及び担当係で構成する学校評価委員会を5回開催し、学校自己評価及び学校評価アンケートについて検討・実施した。また、これとは別に、7月に授業評価アンケートも実施し検証と改善策を作成した。

2 学校自己評価

①学校運営計画

年度初めに、教育方針及び学校運営計画（重点目標、具体的目標）を策定した。

②具体的目標・具体的方策

5月初旬に、学校運営計画に基づき各校務分掌、学年団、教科、学科において具体的目標・具体的方策を策定した。

③自己評価

最終評価（2月1日基準）を実施した。

④成果と課題

学校評価委員会において、学校自己評価及び学校評価アンケート等を総合的に検証してまとめた。詳細は「令和4年度学校自己評価【全日制】最終評価」。

3 学校評価アンケート調査

① 対象及び回答者数

生徒780名、保護者772名、教職員80名

② 実施時期

令和4年 12月 23～ 令和5年 1月10日

③アンケート結果の検証と改善策

学校評価委員会においてアンケート結果の分析・改善策を検討した。

○「本校の部活動は活発で充実していると思いますか。」という問いに関して、昨年度より評価が上がった。今年度は、コロナ禍における制限が緩和され、感染対策のもと、地元開催のインターハイにおいて選手・補助員の活躍が観られた。また、その他多くの大会やコンクール等が開催され、昨年度の厳しい状況を知る3年生からは特に評価が上がった。休止期間や対外活動の禁止など制限もある中で、文化部・運動部ともに制約に縛られた1年となったが、生徒達は前を向いて懸命に活動していた。

○本校の進路指導については、キャリア教育の大きな役割を果たすインターンシップが中止となる学科もあり、3年生の進路に対する不安から進路意識が高まったと思われる。今年度は、新たな取り組みとして求人情報のWeb閲覧システムを導入した。求人票の閲覧が家庭でもできるようになり、情報提供という意味でも改善が図れた。オンラインでの面接やガイダンスなども行った。また、複数企業の来校による企業説明会も実施した。それらが反映され、進路の情報提供は昨年より高い評価となった。9割の生徒・保護者に評価して頂いているが、進路指導室や資料室の利用を促し、今以上に十分な情報提供ができるよう計画したいと考えている。

○工芸展は在籍生徒の保護者に加えて、中学2、3年生とその保護者にも公開して実施した。昨年同様、残念ながら一般公開はできませんでしたが、少しでも本校の活動を多くの人に観て頂き好評であった。修学旅行も1名の新型コロナウイルス感染者も出すことなく実施できた。感染対策による体育祭やクラスマッチなど感染対策を行い、できる限りの学校行事を行なった。その成果が生徒や保護者に伝わったと思われる。また、今年度から本格運用した一斉メールや9月からは欠席入力フォームシステムを導入し、コロナ感染症などの緊急事態に対応できるようにした。

4 学校評価の公表

② 学校評価アンケート結果の検証と改善策を、生徒を通じて保護者に配布する。

学校ホームページに、学校自己評価結果及び校評価アンケート結果等を掲載する。